



自治振興会の紹介

新坂自治振興会



新坂地域の誇りである発電所

新坂自治振興会を設立し、一年が経過しました。これまで新坂地域では、昭和五十六年に新免むらつくり推進協議会を設立し活動を積み重ねてきました。町内で新坂地域は周辺地域となり、多くの疑問や不安がありました。こうした問題を自治振興会の課題とし、公民館と連携を図りながら四つの部会を連携組んでいます。また、班長会議を毎月開催し、行政との連絡の徹底と各班との情報交換をし、問題点を話し合っています。

その中で、住民の生きがい対策としてレクリエーション部会を作り、ゲートボール・グラウンドゴルフ・カラオケ・パッチワーク・銭太鼓を楽しんでます。そして農薬面では、担い手不足で農地荒地を守るため、平成九年に機械利用組合（ニューファーム新坂）を設立しました。昨年六月には農事法人組合を設立し、組合員七名が赤字覚悟で頑張っています。そして、新坂地域の誇りである発電所です。帝釈川発電所が大正十三年に築造し七十九年経過しています。現在、新帝釈発電所を新設中で来年六月に運転開始予定です。この二基の発電所は、地域や町の大きな財源の一つとなるものです。

これから新坂らしさを大切にし、夢を持って頑張っていればいつか明るい日差しがあるとあります。

(会長 津村 博巳)



生きがい対策の一つであるグラウンドゴルフの様子

下豊松振興会



オリエンテーリング大会の様子

下豊松振興会は平成十六年九月に設立し、五つの専門部会を中心に事業を行っています。

本年度は、振興会として実質一年目の活動となりますので、まだまだ手探り状態ではありますが、これまで実施してきた活動をいくつか紹介します。

十月の広報にも掲載されましたが、地域内の道路沿いなどを水仙の花でいっぱいにしよと、九月から十月にかけて水仙の植栽を行いました。今回は約六、〇〇〇個の球根を植栽しましたが地域全体を花いっぱいにするにはまだまだです。数年先にはこの活動により景観が地域の資源として実を結ぶことを期待しています。

また、下豊松地域の再発見と、健康づくりを目的としてオリエンテーリング大会を十一月六日(日)に計画していました。しかし、当日はあいにく雨となり、多目的体育館でミニオリエンテーリングやゲームなどを約四十名の参加者により楽しみました。

このほか、先進地視察(安芸高田市)や将来田舎暮らし事業(独身男女のお見合いパーティ)、地域内清掃などを行いました。ここまでを振り返ってみると、事業が多すぎて参加する人に負担がかかっているのではないかと感じています。

今後は、地域のみなが楽しく参加でき、みんなで地域を見つめ直し、特徴のある地域づくりが出来るような活動を進めたいと思います。

(事務局 一岡)



花いっぱい運動の様子

